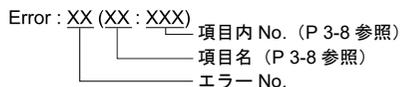


2-1. Error No. について

V9 シリーズ上に表示された項目名と項目内 No からエラー内容 (= エラー No) を確認し、修正します。



* エラー No. に「*」が付いているエラーは通常発生しないエラーです。
表示された場合には技術相談窓口（裏表紙記載）までご連絡ください。

エラー No.	内容	対処方法
3	データのバージョンと本体プログラムのバージョンが合っていません。	エディタから本体プログラムを転送してください。 直らない場合は、エディタのバージョンと V9 シリーズの本体プログラムバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
10	通信 I/F ユニットが未装着か、通信 I/F ユニットと I/F ドライバが一致していません。	通信 I/F ユニートを装着してください。 再度 I/F ドライバを転送してください。
11	I/F ドライバと画面データの PLC 機種が合っていません。	PLC の機種を確認し、再度 I/F ドライバを転送してください。
12	I/F ドライバと画面データのバージョンが合っていません。	エディタのバージョンと I/F ドライバのバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
13	I/F ドライバと本体プログラムのバージョンが合っていません。	I/F ドライバのバージョンと V9 シリーズの本体プログラムバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
15	本体の表示言語と画面データの言語が一致していません。	本体機種と作成データの言語を確認後、再設定してください。
17	設定されたネットワーク I/O No が使用可能範囲を超えています。	使用可能範囲 No に再設定してください。
19	この本体で未対応の I/F ドライバが転送されています。	正しい I/F ドライバを転送してください。
20	ロギングサーバーの最大容量を超えています。	ロギングサーバー設定の内部記憶設定 [DRAM] の容量が最大容量を超えています。 [保存データ数] を減らしてください。
22	トレンド・アラームパーツで指定しているロギングブロック No・アラームブロック No が設定されていません。	[システム設定] → [ロギングサーバー] または [アラームサーバー] で該当するブロック No を再設定してください。
23*	メモ리카ードファイル No エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
25	ロギングサーバーのロギング点数、またはアラームサーバーの監視アラーム数がオーバーしています。	ロギングサーバーの [ロギング点数]、またはアラームサーバーの [監視アラーム数] を確認してください。 ロギング点数 : 最大 256 ワード 監視アラーム数 : 最大 1024 ワード
27*	ロギングサーバー・アラームサーバーにエラーがあります。	技術相談窓口までご連絡ください。
28	モジュージャック 1 と 2 が同じ機能設定になっています。	[ハードウェア設定] を確認後、再設定してください。
29	メモリ容量が不足しています。	アラームサーバーの [内部記憶設定 (DRAM)] → [保存データ数] や [監視アラーム数] を減らしてください。 また、不要であれば、以下の設定を削除してください。 ・マルチリンク / マルチリンク 2 ・ラダーモニタ ・使っていない接続機器 上記対処方法でも直らない場合は、技術相談窓口までご連絡ください。
30	登録してあるアイテム数が多すぎます。	アイテムを減らしてください。

エラー No.	内容	対処方法
31	登録アイテム用のメモリ容量が不足しています。	対象スクリーンに対して、以下の対処を行ってください。 アラームサーバーの [監視アラーム数] を減らしてください。 画面上のアイテムを減らしてください。
32	メモリを使用するアイテム数が規定数を超過しています。	アイテムを減らしてください。
33	スイッチまたはランプが設定可能最大数を超過しています。	スクリーンに設定されたスイッチまたはランプが 4096 個を超えています。オーバーラップ上のスイッチまたはランプも数に含まれます。スイッチまたはランプの数を減らしてください。
34	メモリを使用するアイテムがワークメモリの規定量を超えています。	データを減らしてください。
35*	可変長データエラー	技術相談窓口までご連絡ください。
36*	項目 ITEM エラー	
37*	コンポーネント内項目 ITEM エラー	
38*	コンポーネントエラー	
40*	グループバイトカウントエラー	
41*	認識フラグエラー	
42*	機能 ITEM エラー	
43*	機能 ITEM エンドエラー	
44*	グループ ITEM エンドエラー	
46	使用できないデバイスを設定しているか、設定可能なデバイス範囲をオーバーしています。	設定したデバイスを確認してください。 Ethernet 接続の場合、[ハードウェア設定] → [接続先設定] → [PLC テーブル] の設定を確認してください。
47	スクリーンライブラリ上の、設定制限のあるアイテムの ID が、スクリーン上で重複しています。	ID が重複しないように設定を確認してください。
49*	グループ ITEM エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
50*	リンク ITEM エラー	
51*	エディタ ITEM エラー	
52	オーバーラップ ID が「0 ~ 9」以外の異常な値になっています。	オーバーラップ ID を確認、再設定してください。
53	コールオーバーラップ設定で、パーツが登録されていないオーバーラップライブラリ No を設定しています。	パーツを登録してある [オーバーラップライブラリ No] を設定してください。
55*	マルチオーバーラップヘッダエラー	技術相談窓口までご連絡ください。
56*	グラフィック未定義コマンドエラー	
57*	グラフィック ITEM エラー	
58*	グラフィック実行エラー	
59*	スイッチ機能エラー	
60	スイッチの動作領域に誤りがあります。	スイッチの動作領域を再設定してください。
61*	統計グラフ % 表示 No オーバー	技術相談窓口までご連絡ください。
62*	マルチデータオーバー	
63	データブロック（最大 4 カ所作成可）の選択順 No が重複しています。	データブロックの選択順 No を確認、再設定してください。
64*	データ表示エレメント No エラー	技術相談窓口までご連絡ください。

エラー No.	内容	対処方法
65	トレンドパーツの設定において、スケールまたはグラフが正しく設定されていません。	詳細設定の「スケール最大値」・「スケール最小値」もしくはグラフの「最大値」・「最小値」を正しく設定してください。
66*	内円の半径が 0 です。	技術相談窓口までご連絡ください。
67*	表示ポイント数が ≤ 0 です	
68	1 リレー（1 ビット）で表示する行数分の表示領域が確保されていません。	アラームサーバーの「メッセージ行数」を確認し、表示領域を拡大してください。
69	画面より大きいパターンまたはフレームを設定しています。	パターンまたはフレームを再設定してください。
70	帳票の列または行がオーバーしています。	帳票の列 / 行を確認し、再設定してください。
72	アラームパーツのリアルタイム印刷の設定が上限を超えているか、または指定されたアラームブロック No が重複しています。	アラームパーツの「リアルタイム印刷機能を使用する」にチェックした設定が 4 個を超えています。または同じ「アラームブロック No」を設定した「リアルタイム印刷機能を使用する」にチェックがあるアラームパーツが 2 個以上あります。 制限に従って「リアルタイム印刷機能を使用する」の設定を行ってください。解決しない場合は、エディタのバージョンと、V9 シリーズの本体プログラムバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
73	ビデオアイテムが 1 スクリーンに 4 個以上あります。（スクリーンライブラリも含む）	ビデオアイテムの設定数を確認し、減らしてください。
74	アニメーションアイテムをベース画面以外（スクリーンライブラリ等）に配置しています。	アニメーションアイテムはベース画面に設定してください。
75	画面データの機種が異なります。	エディタから V9 シリーズの本体プログラムを転送してください。
77*	拡張グラフィック ITEM エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
78*	拡張機能 ITEM エラー	
79	コンポーネントパーツの使用メモリ容量が大きすぎます。	コンポーネントパーツ数を減らしてください。
80*	マクロ：未定義コマンドエラーです。	技術相談窓口までご連絡ください。
81	マクロ：FOR - NEXT 命令の数が異なります。または FOR - NEXT 命令のネスティングが 8 回を超えています。	FOR - NEXT 命令を修正してください。
82	マクロ：同じラベル No のコマンドがあります。	マクロ：ラベルを再設定してください。
83	マクロ：ジャンプ先のラベルがありません。	マクロ：ジャンプ先ラベルを変更またはラベルを設定してください。
84*	マクロ：デバイス不正使用です。	マクロを変更してください。
85*	マクロ：未定義システムコールです。	技術相談窓口までご連絡ください。
90	登録されていないスクリーンライブラリを使用しています。	スクリーンライブラリの No を確認してください。
91	スイッチまたはランプのビットマップが未登録です。	以下の項目を確認してください。 ビットマップ名の指定がない。 パーツのサイズが大きすぎる。 「MONITOUCH」フォルダ内の「User」→「Parts」フォルダ内にビットマップが存在しない。
92*	多言語初期表示文字列 No エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
94	多言語切替文字列数エラー	
95	MR400 フォーマットテーブル設定：文字列コードエラーです。	文字列中で「¥」の後に不当なコードがあります。
96	MR400 フォーマットテーブル設定：文字列サイズエラーです。	文字列のトータルサイズが大きすぎます。

エラー No.	内容	対処方法
97	多言語フォント設定エラー	第 1 言語のフォントの再転送するか、画面データを再転送してください。
99	登録項目の使用メモリ容量が大きすぎます。	登録項目の登録数を減らしてください。
100	汎用シリアル：入力モードが GD-80 互換になっています。	入力モードの GD-80 互換のチェックをはずしてください。
101	汎用シリアル：システムデバイス設定エラーです。	マクロの間接指定などで、範囲外のデバイスにアクセスしていないか確認してください。
102*	接続形式設定エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
103*	ネットワーク I/O サイズ設定エラー	
104*	ネットワークテーブル設定エラー	
120	マルチリンク 2 の設定で接続先ポートが合っていない。	マルチリンク 2 の詳細設定で、接続先ポートを確認してください。
121	マルチリンク 2 の局番異常です。自局番または総数の値が 1 ~ 4 を超えています。	マルチリンク 2 の詳細設定で、[自局番] または [総数] の値が [1] ~ [4] を超えています。[自局番] または [総数] の値を [1] ~ [4] に設定してください。
122	マルチリンクプログラムが未登録です。	マルチリンクプログラムを転送してください。
123	マルチリンク 2 プログラムが未登録です。	
127	本体はリモートデスクトップ機能をサポートしていません。	本体がリモートデスクトップ使用可能な機種か、確認してください。使用不可の場合は、設定を削除してください。
130*	Ethernet：ネットワークバイトエラーです。	技術相談窓口までご連絡ください。
131	Ethernet：自局のテーブルが設定されていません。	本体のローカル画面上で局番を確認の上、ネットワークテーブル編集で自局が設定されているか確認してください。
132	Ethernet：接続先設定が未登録、または異なっています。	[ハードウェア設定] → [接続先設定] → [PLC テーブル] の設定をしてください。
133	Ethernet：IP アドレス No 異常です。	ネットワークテーブル編集で IP アドレスの設定を確認してください。
134	Ethernet：ポート No 異常です。	ネットワークテーブル編集でポート No の設定を確認してください。
135	FL-net：FL-net データ異常です。	[ハードウェア設定] の [FL-Net] の設定を確認してください。
136	IP アドレス設定異常：自局 IP アドレスで選択したネットワークテーブル No が登録されていません。	ネットワークテーブル設定内容を確認してください。
137	I/F ドライバの Ethernet ポート No の値が重複しています。	他の I/F ドライバのポート No. と異なる値に設定してください。
138	リモートデスクトップテーブルが登録されていません。	指定した No. のリモートデスクトップテーブルを登録してください。
139	リモートデスクトップテーブルの設定値が不正です。	リモートデスクトップテーブルの設定を再度確認してください。(未登録のリモートデスクトップテーブル No. を指定していないか等)
140	本体の I/F ドライバと本体プログラムのバージョンが合っていない。	本体プログラムのバージョンが接続機器の対応バージョンかどうかを確認し、本体プログラムのバージョンアップをしてください。
141*	マルチリンク 2 の設定があります。	技術相談窓口までご連絡ください。
142	I/F ドライバ未登録	I/F ドライバを転送してください。 または、アイテムのデバイスを確認してください。
143	ロギングサーバーの [転送テーブル No.] が未設定です。	転送テーブルの設定を確認し、設定してください。
145	ロギングサーバーの [転送テーブル No.] が重複しています。	ロギングサーバーで [転送テーブル No.] が重複していないか確認し、再設定してください。

エラー No.	内容	対処方法
146*	転送テーブル内の設定メモリ数が異常です。	技術相談窓口までご連絡ください。
150	ラダーモニタプログラムが未登録です。	ラダーモニタプログラムを転送してください。
151	ラダーモニタプログラム機種不一致	接続先の PLC 機種を確認し、再度画面データを転送してください。
152	ラダーモニタプログラム未対応言語	本体機種と画面データの言語を確認し、再設定してください。
155	FROM のデータが未登録です。	[システム設定] → [本体設定] → [環境設定] で「内部フラッシュROMをバックアップ領域として使用する」に設定しているのに default.dtm ファイルが転送されていません。または、[ハードウェア設定] → [通信設定] で「局番テーブルを使用する」に設定しているのに局番テーブルがありません。局番テーブルを使用する場合、局番テーブルを使用しない場合と比べて、ローカル画面の拡張プログラム容量が 66 KB 少なくなります。確認してください。局番テーブルを使用する / 使用しない どちらも同じ容量の場合、技術相談窓口までご連絡ください。
156	「バックアップ領域」と「局番テーブル」は併用できません。	[システム設定] → [本体設定] → [環境設定] で「内部フラッシュROMをバックアップ領域として使用する」と、[ハードウェア設定] → [通信設定] で「局番テーブルを使用する」に設定されています。両方の機能を同時に使用できません。どちらか一方のチェックをはずして再度画面転送してください。
157	局番テーブルの局番が重複しています。	マクロ「FROM_WR」による局番テーブルの書換は、局番が重複しないように設定してください。
158	ラダーモニタプログラムの設定機種とラダーデータの機種が違います。	正しい機種のラダーデータを転送してください。
159	PLC のラダーデータが不正です。	ラダーデータを再転送してください。
160	SRAM 領域の合計サイズが使用範囲を超えています。	[システム設定] → [本体設定] → [SRAM / 時計設定] を確認してください。
161	SRAM 領域がフォーマットされていません。	[ローカル画面] の「SRAM 設定」メニューでフォーマットを行ってください。電池電圧が低下していないか確認してください。
162	SRAM 領域のデータと本体プログラムのバージョンが合っていません。	本体プログラムのバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
163	SRAM / 時計と SRAM 領域のフォーマットが合っていません。	[ローカル画面] の「SRAM 設定」メニューでフォーマットを行ってください。
164	シミュレータプログラムと本体プログラムの Ver が合っていません。	本体プログラムとシミュレータプログラムの対応バージョンを確認してください。
165	転送テーブルが使用できない機種に転送テーブルデータが登録されています。	転送テーブルを削除してください。
166	シリアルポートに設定している機能が重複しています。	Error : 166 (ヘッダ : x) └ 項目内 No. 項目内 No. が以下の意味になります。 0 : CN1 1 : MJ1 2 : MJ2 ポートに重複した機能 (シミュレータ等) を設定しないようにしてください。
174	ラダー通信未対応の I/F ドライバが設定されています。	ラダー通信に対応している I/F ドライバが確認してください。

エラー No.	内容	対処方法
183	プリンタ機種が違います。	画面データで設定した機種のプリンタドライバを転送してください。
184	プリンタドライバがありません。	プリンタドライバを転送してください。
187	ロギングサーバーで指定された [転送テーブル No.] が、定期書き込みまたは同期書き込みで設定されています。	転送テーブルの内容を確認してください。
188	定期書き込みまたは同期書き込みを設定してある転送テーブル No 内で、同じデバイスに書き込む指定をしています。	転送テーブルの内容を確認してください。
189	本体に日本語変換プログラムが未登録です。	日本語変換プログラムを転送してください。
192*	I/F ドライバ設定エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
193*	帳票共通設定が未登録です。	
194*	メモ리카ード設定が未登録です。	
195*	V-I/O 入出力デバイスが未登録です。	
196	ストレージに格納されたデータが違います。	ストレージへのデータ（スクリーン、3D パーツ等）格納機能を使った場合に起きる可能性があります。 ストレージ マネージャを使用し、正しくデータを格納したストレージを挿してください。
199	USB ポートに設定している機能が重複しています。	USB-B ポートの機能が重複しています。 USB-B ポートには、USB シミュレータ / PictBridge プリンタ / USB ラダー通信機能のいずれかのみを設定してください。
201*	トータルバイトカウントエラー	技術相談窓口までご連絡ください。
207	ビデオユニットが装着されていません。	オプションユニット「GUR-00」または「GUR-04」または「GUR-10」を装着してください。
209	PLC のラダーデータが未登録です。	ラダーデータを転送してください。
216	帳票上に印刷できないアイテムが配置されています。	帳票画面を確認してください。使用不可のパーツは削除してください。
217	タッチパネルの電源電圧が仕様を満たしていません。	電源電圧を確認してください。電源部の仕様について、詳しくは『V9 シリーズ ハード仕様書』を参照してください。
301	レシピ設定エラー	レシピの設定を確認してください。 設定値が範囲外、またはレコード名の指定方法に問題があります。
302	アラームサーバーの最大容量を超えています。	アラームサーバー設定の内部記憶設定 [DRAM] の容量が最大容量を超えています。 [監視アラーム数] [保存データ数] を減らしてください。
306	SRAM 領域のデータが破損しています。	[ローカル画面] の [SRAM 設定] メニューで、[強制フォーマット] を行ってください。
310	アラームサーバーのアラーム種別が設定されていません。	[システム設定] → [アラームサーバー] で該当するアラームブロック No の監視アラームのアラーム種別を確認してください。
311	表示 / 非表示 複数条件設定エラー	表示 / 非表示設定を確認してください。
312	ストロークフォント OS 未対応	エディタをアップデート後、OS のアップデートを行ってください。
313	USB カメラ OS 未対応	OS のアップデート方法について、詳しくは『V9 シリーズ リファレンスマニュアル [2]』を参照してください。
314	HPLIP プリンタ OS 未対応	
315	この本体では HPLIP プリンタは使用できません。	ハード Ver. f 以降の V9 を用意するか、別のプリンタを使用してください。

項目名

項目名はエラーを検出した編集画面または場所を示します。

項目内 No.

項目内 No. はエラーを検出した画面の No. を示します。

- ログインサーバー/アラームサーバーの場合 : 0 ~ 11 = ブロック No.
- メッセージの場合 : メッセージグループ No.
- グラフィックライブラリの場合はライブラリの以下の No. を表示します。
グラフィックグループ No. × 256 + グループ内 No.
- 転送テーブルの場合 : xyy (x = PLC1 ~ 8、yy = テーブル No.)
- I/F ドライバの場合 : 1 ~ 8 = PLC1 ~ 8、9 = シミュレータ